

2024年3月29日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(アルプスアルパイン株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、アルプスアルパイン株式会社(代表取締役社長:泉 英男、以下「アルプスアルパイン」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則したシンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を組成いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」)」を設定し、貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

アルプスアルパインは、「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」(以下「本フレームワーク」)を策定し、2024年3月29日付で株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性について第三者意見(※2)を取得しています。なお、本件は本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンの融資契約です。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<アルプスアルパインについて>

アルプスアルパインは、「コンポーネント」、「センサ・コミュニケーション」、「モジュール・システム」の3つの事業セグメントで、車載・家電・モバイル・ゲーム・産業機器等の市場で製品・サービスを提供しています。企業理念である「アルプスアルパインは人と地球に喜ばれる新たな価値を創造します。」を実践することで、持続可能な社会への貢献と企業価値の向上を目指しています。また、サステナビリティを経営課題と捉え、社会・産業構造の変化、技術の進化及び製造業における競争の激化に対応可能な事業変革を全社で推進するために、2020年に設定したマテリアリティの見直しを行い、社会課題の解決に取り組んでいます。

<本件(シンジケートローン)の概要>

契約締結日	2024年3月27日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行
組成金額	98億円
資金使途	運転資金
貸付人(五十音順)	千葉銀行、横浜銀行、りそな銀行、三井住友信託銀行

<KPI および SPT の概要>

本件は、以下の KPI と SPT を設定しています。

KPI	SPT	SDGs
アルプスアルパイングループ(※)における GHG 排出量(スコープ 1+2)	アルプスアルパイングループにおける GHG 排出量(スコープ 1+2)を 2030 年度までに 2020 年度比 90%削減	
アルプスアルパイングループ(※)における再生可能エネルギー導入率	アルプスアルパイングループにおける再生可能エネルギー導入率を 2024 年度までに 60%、2030 年度までに 100%	

※アルプスアルパイン株式会社及び国内外の連結子会社が対象

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上